

提言のポイントについて

1. 主な流れ

- ①市民アンケートの報告書における考察部分を再掲
- ②ワークショップの内容についての考察
- ③インタビューの内容を主体別に考察
- ④提言

2. 提言のポイント

ソフト（取り組み、組織づくり）

- 事業や行事のスリム化による役員および会員の負担の軽減が必要
- 宅地建物取引事業者との協働による加入促進が必要
- 若者・子育て世代に対する垣根の低い組織作りが必要
- 地域のデジタル化の推進が必要
- 企画段階から参加してもらう
- 地域の代表者＋市関係者＋NPOの事前協議の場が必要

ハード（施設、公的支援）

- 町内公民館加入世帯の減少により地域の防犯灯の徴収（加入・未加入ともに）が手間・金銭的に負担となっているため支援が必要
- 公民館加入者の減少などにより、施設を維持することが地域活動の負担となっているため支援が必要
- 地域の役員などを有償で担える環境づくりが必要（現行の手当の見直し含め）